

高取小だより

令和6年5月14日



三本桜

第6号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
5月の目標：けがに気をつけよう

ようこそ1年生

1日（水）に、1年生を迎える会「ようこそ1年生」を開催しました。児童会が企画・準備し、歓迎の言葉、高取小学校自慢、全校による校歌斉唱など、新しい仲間を迎えた喜びをさまざまな形で表現し、大変心温まる集いになりました。開始時には、やや緊張気味の表情の1年生でしたが、会が進むにつれ表情も和らぎ、笑顔あふれる素敵な会とすることができました。



【高取小学校自慢を聞く1年生】

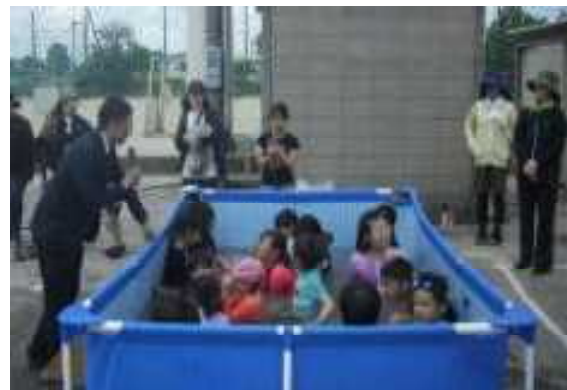
さて、張り切って学校生活をスタートさせた1年生にとっては、慣れが出てきた反面、疲れも出てくる頃です。学校でがんばっている分、家では安心して過ごせるよう、家族で楽しく食事をしたり、お子さんの話にじっくり耳を傾けたりしてもらえたらと思います。

どろんこカップ

11日（土）、向山町の高取学童農園で「どろんこカップ」が行われました。子どもたちはもちろん、保護者、地域の方まで泥にまみれて、親子手つなぎ競争、ビーチフラッグ、しっぽとり、綱引きの4競技が実施され、白熱したバトルが展開されました。PTA理事の皆様、鷹取の会の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



【フラッグ争奪 熱い戦い】



【吉岡市長の激励を受ける】

絵本紹介

さかなくん（作・絵；しおたにまみこ 偕成社）という絵本を紹介します。

得意なこと、苦手なこと、住む環境、いろいろな子どもがいていいこと。苦手なことをカバーする方法はいろいろあって、自信をもってその方法を使っていいこと。そしてどの子どももカッコいいんだよ。そういったことを伝えてくれる絵本です。

主人公のさかなの子ども「さかなくん」は、動物も人間も一緒に学ぶ地上の小学校に通っています。水の中の生き物も、人間も、地上の生き物もいる学校を描いている作品は、とても珍しいように思います。

「さかなくん」は水を満たしたヘルメットを被らなければ学校に行けませんが、それは、潜水服を付けなければ人間も動物も水中に行けず、宇宙服を付けなければ宇宙に行けないのと同じことです。すべての生物は身体の外からエネルギーを取り入れなければ生きていけませんが、この絵本は、子どもにそのことを気付かせることができます。そして、器具の助けがなければ生きていけない障害をもつ人がいることにも目を向けてくれたり、さらには多様性を大切にする社会について考えてくれたりすることが期待できます。

「さかなくん」は「ひれ」に靴を履くので、歩くのにとっても苦勞していますが、「ひれ」はなかなか地上を歩く「足」の代りにはなりにくいのです。生き物はすべて自分が生きる環境の中で動くのに最適な身体の形をしています。子どもにそれを気付かせることもできます。歩きにくい「さかなくん」は体育が苦手です。ある日、転んで「ひれ」にけがをします。見舞いにきた級友の人間とトカゲが潜水服をつけて「さかなくん」の部屋に来るシーンがあります。二人は「さかなくん」にローラースケートをプレゼントし、翌日登校した彼はそれを着けてすいすい走ります。

全体の物語がとてもよくできていて、個々の絵はそれぞれの場面を実に巧みに描いています。絵の一枚一枚を見ながら、子どもに質問したくなり、そこから対話のはずみそうです。この絵本をとおして、子どもは、生物の身体と環境との関係をかなり深いところまで認識できるでしょう。



家庭訪問 ありがとうございました

家庭訪問では、日程調整にあたって無理をお願いしました。ご協力をいただき、ありがとうございました。

約10分間という限られた時間では、十分な情報共有や交換ができなかったかもしれません。どこかで電話等によりお話をさせていただくことも可能です。ご希望があれば担任まで連絡をしてください。よろしく申し上げます。

